

母校と卒業生同士をつなぐ

# 校友タイムス

Koyu Times  
vol.451

歴史を紡ぎ  
更なる創造へ

## CONTENTS

総会・全国支部交歓会 in 福岡

支部&私たちの“仕事”自慢

学校別校友会「活動now」

校友ハツラツさん

校友スポットライト

and more...

# 2023年度

# 総会・全国支部交歓会 in 福岡

天候に恵まれ全国から集まった校友たち。今年も久しぶりの友との交流で笑顔が絶えない会となりました。

2023年11月18日(土)、来賓を含め全国から298人が参集し、ホテルニューオータニ博多にて総会・全国支部交歓会を開催しました。

総会では、溝口会長が配付資料に基づき、運営方針などを説明し了承されました。引き続き全国支部交歓会では、芝本事業部長からの愉快な歓迎挨拶と開会宣言で開幕となりました。

溝口会長は「懐かしい友と旧交を温めていただけたらと思う。家族孝行もできるので、ぜひ来年も多数ご参加を」と挨拶。学園の西村理事長からは「ここ数年は、コロナ禍で支部総会や懇親会が中止になり、やっと解禁になった。今年は、ほとんどの支部で総会が開催され、私もいくつかの地方支部に出席させていただいた。支部の方がその地域に溶け込み、核となって活躍されていること、会話の内容からは、非常に母校に対して愛着を持っているという印象を受けた。今、我々は皆さんが学生時代に過ごされた『家』を守っており、その責任感を意識している。他大学と差別化できるような学校づくりに加え、設置各学校が連携して社会から選ばれ

る学校となるため全学園で取り組んでいるので、更なるご支援をお願いしたい」との挨拶をいただきました。地元支部を代表して福岡県支部の中島支部長の歓迎挨拶の後、廣嶋副会長によるさわやかな「乾杯!」の発声により開宴。ホテル自慢の豪華コース料理を堪能しました。



ダンスに太鼓、参加型アトラクション2本立てで会場の雰囲気は最高潮に

今年のアトラクションは豪華2本立て。まずは、地元博多の精華女子高校吹奏楽部OBバンド「☆OBS」による演奏とカラーガードの演舞。同高吹奏楽部は全国レベルの実力を誇り、現役を離れても華やかさと力強さが融合した見事なものでした。アンコールの「ヤングマン」では会員も参加し、会場が一体となって盛り上がりを見せました。続いて

「☆OBS」による演奏とカラーガードの演舞。同高吹奏楽部は全国レベルの実力を誇り、現役を離れても華やかさと力強さが融合した見事なものでした。アンコールの「ヤングマン」では会員も参加し、会場が一体となって盛り上がりを見せました。続いて



北九州支部一押し南国指定重要無形民俗文化財「小倉祇園太鼓」。簡単なようですが、太鼓の両面打ちで音の調和を一つにすることは、至難の技。保存振興会の皆さんの息が合ったテンポの良い演奏を堪能した後は試打体験。試打のパートが用意され、会員を代表して6人がハッパを着て登壇し奮闘していました。今までもありませんでした。恒例の支部紹介の後、次年度開催地を発表。伝統の熊手は無事に関東支部に引き継がれ、最後は、堀井副会長の力強い挨拶で閉会となりました。記憶に残る14年振りの九州大会。観光やグルメ巡りも兼ねて参加された方は、さらに良い思い出となったことでしょう。また来年度、東京でお会いしましょう。



《 次回は 東京で開催!! 》



## 府窓会支部

北海道から鹿児島県まで全国に77ある学園校友会支部を順に紹介していくこちらのコーナー。今回は大阪府の土木職に携わられる皆さんを中心に構成する職域支部・府窓会支部です。1937(昭和12)年に設立され、今年で87年目を迎える歴史ある支部ですが、近年は20代の会員も増え、支部としての新しい活動に注目が集まっています。そんな府窓会支部の紹介と活動を岸川支部長とお二人の若い会員さんに伺いました。



写真左から 下柿元 薫さん  
(大阪府東部流域下水道事務所 維持管理課 課長)  
鈴木 寧々さん  
(大阪府東部流域下水道事務所 維持管理課 管理グループ)  
樋口 徳一さん  
(大阪府モノレール建設事務所 建設課 企画調整グループ)  
岸川 大洋さん  
(大阪府モノレール建設事務所 所長 ※府窓会支部長)  
松澤 大助さん(千早赤阪村 産業建設部 理事)

厳しくも優しい、校友ならではの  
+αの接し方が◎

府窓会は大阪府の土木職から生まれた会で歴史があります。建築職や水道局、外郭団体のメンバーがいた時は最大350人の会員が所属していました。主な活動は総会、懇親会の開催で、昨年10月には道頓堀ホテルで60人の会員が一堂に会し、コロナ禍以来、久しぶりの大人数で集まることができました。近年の府窓会では20代のメンバーが増えており、横(同世代)のつながりだけでなく、世代を超えた縦のつながりが強固になったと思います。我々の世代からは技術



府窓会支部長  
岸川 大洋さん  
(工大 土木工学科 1990年卒)

や経験、仕事のやり方などを話しますし、若手世代からはデジタル系のことを気軽に教えてもらったりできるのが良いですね。府の職員は3〜5年で異動になるのですがその時も異動先の部署に校友の先輩・後輩がいるとなんとなく安心するものです。

府窓会の特徴の一つが「若手現場見学会」です。府窓会の青年部が立ち上がり、その活動の第一弾として昨年10月に実施されました。淀川橋梁改築工事現場に皆で出向いて大阪府のインフラ整備についての知識を深め、担当者同士でフラットな情報交換が行われました。将来的にはこの「若手現場見学会」をリクルートにも活用できればと考えています。今も摂南大、学校校友会や近畿工大の総会懇親会に出席していますが、常翔学園ともっと密接に関わり、府職員のリクルート活動を積極的に取り組んでいきたいと思っています。若いメンバーが増えている府窓会は、これからますます楽しみな支部です。



未来を見据えて、  
ますます発展する府窓会を！

### 私たちの「仕事の内容」ってこんな感じです

支部会員の中から若手の私たちが代表して仕事の魅力を紹介します！

#### 今、地図にない新しいモノを 創り出す面白さを実感

大阪府モノレール建設事務所  
建設課 企画調整グループ  
樋口 徳一さん(工大 都市デザイン工学科 2019年卒)

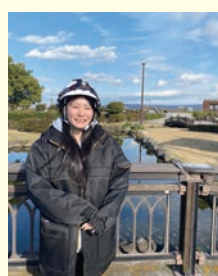


今は大阪モノレールの延伸事業を担当しています。モノレールの延伸は、地上はもちろん地下(上下水道など)の事業者さんや管理会社との協議・調整から始まり、住民の方への説明会はもちろん、場所によっては3km単位で異なる設計会社さんと調整しながら図面や設計を行っていきます。最近では3次元の立体図面(DX)を見せ合い、ズレが生まれないようにイメージを共有して仕事を進めています。期限が決まっているのでスピード感も重要ですし、それなりに厳しい仕事ですが、やはり大阪府の中でも一番大きな事業に関わっているという自負があります。いわゆる地図に残る仕事ですから、将来、子供ができたなら自慢できる仕事だなあと考えています。



#### 現場に臨み、 府民生活を守り続けたい

大阪府東部流域下水道事務所  
維持管理課 管理グループ  
鈴木 寧々さん(工大 都市デザイン工学科 2023年卒)



入庁の際のアンケートで「ライフラインに関わる仕事がしたい」と記入して配属され、現在は流域下水道事業の維持管理を担当しています。下水道管の劣化を調査し、診断を行って修復が必要な箇所は担当の部署と調整します。流域下水道の管は人が立って入れるくらい大きく、劣化調査は自走式カメラだけでなく目視も重要です。私は自分の目で確かめたい現場主義なので、供用中の現場にも積極的に赴き、周囲には驚かれています。劣化にいち早く対応することで、道路陥没を未然に防止するとともに、大雨や台風時の雨水の流下機能を確保できるなど、府民の皆さんの命や社会生活に関わる重要な仕事なので、誇りを持って取り組んでいます。これからの府窓会の現場見学会では、リクルーターとしてもぜひサポートしたいと思います！



### 大阪府

では、都市基盤施設の整備や維持管理などを通じて、大阪・関西の成長・活力を支え、自然災害などから府民の安全・安心な暮らしを守るための施策を推進しています。大阪・関西の成長・活力としては、大阪モノレール延伸、なにわ筋線などの戦略的な公共交通事業の推進や、府内幹線道路ネットワークの充実・強化などに取り組んでいます。また、「大阪のまちづくりブランドデザイン」に基づき、大阪全体のまちづくりを推進しています。さらには、大阪都市圏の物流を支え、国際競争力を高める港湾機能の強化に取り組んでいます。安全・安心の確保としては、三大水門の更新、寝屋川流域総合治水などの治水・土砂災害対策の推進や、都市基盤施設の耐震化、防災公園の整備などの地震・津波対策の推進といった災害対策に取り組んでいます。また、BIM/CIM/ICTやドローンなどの新技術を活用した効果的・効率的な都市基盤施設の維持管理に取り組んでいます。2025年には、大阪・関西万博が開催されます。世界中から一人でも多くの方が快適に大阪を訪れる環境を整え、未来社会を体験できるワクワクするような万博の実現に向けて取り組んでいます。



## 学園3大学で学長改選

学校法人常翔学園が設置・運営する3大学(大阪工業大学、摂南大学、広島国際大学)の学長の任期満了に伴う改選手続きが行われ、2023年10月24日開催の理事会において次のとおり選任されました。任期は3学長とも2023年11月1日～2025年10月31日までとなります。



大阪工業大学 学長  
井上 晋(再任)

1982年京都大学工学部交通土木工学科卒業。1984年同大学院工学研究科交通土木工学専攻修士課程修了。同大学助手、講師を経て1995年大阪工業大学助教授に。2002年教授。八幡工学実験場長・構造実験センター長、工学部長・大学院工学研究科長、教務部長を経て2021年学長に。博士(工学)。京都府出身。64歳。



摂南大学 学長  
久保 康之(新任)

1980年京都大学農学部農林生物学科卒業。1982年同大学院農学研究科農林生物学専攻修士課程修了。1985年同博士課程修了。同大学助手、講師、京都府立大学農学部助教授、教授を経て2020年摂南大学教授に。2005年雲南農業大学(中国)名誉教授。農学部長。農学博士。大阪府出身。67歳。



広島国際大学 学長  
清水 壽一郎(新任)

1992年東京医科大学医学部医学科卒業。1996年同大学院医学研究科内科学専攻博士課程修了。米・コロンビア大学博士研究員、岡山大学大学院医歯薬学総合研究科講師、奈良県立医科大学医学部准教授などを経て2009年広島国際大学教授に。保健医療学部長、大学院医療・福祉科学研究科長。博士(医学)。埼玉県出身。58歳。

## 大阪工業大学人力飛行機プロジェクトが「鳥人間コンテスト」で3年連続入賞

2023年7月に琵琶湖東岸にある松原水泳場特設会場(滋賀県彦根市)で開催された、読売テレビ主催「Iwataniスペシャル第45回鳥人間コンテスト2023」の人力プロペラ機部門に大阪工業大学人力飛行機プロジェクトが出場しました。デザインの変更や軽量化など1年をかけて作成した機体「KAWASEMI-04」はプラットフォームの離陸時から終始安定して飛行。卒業生の有志も見守る中、歴代2番目となる8566.72mのビッグフライトをみせて見事3位入賞を果たしました。これで3大会連続での入賞となり、今年開催の大会にてさらなる活躍が期待されます。



井上工大学長をはじめ、多くの大学関係者や学生が声援を送りました。

## 第16回学園&大淀会合同ゴルフコンペを開催



2023年10月30日(月)、小野グランドカントリークラブ(兵庫県小野市)にて4年ぶりとなる学園&大淀会合同ゴルフコンペを開催しました。秋晴れの下、校友23人と在学生を含む学園関係者24人の総勢47人が参加し、終始和気あいあいとプレーすることができました。



優勝した小林氏

受章された皆さまへ心よりお慶びを申し上げ、各氏をご紹介します  
(判明分のみ順不同で掲載)



叙勲 受章者

2023年秋の叙勲

旭日単光章

奥田 幸男 (おくた ゆきお) 氏

大阪工業大学 工学部 土木工学科  
1958年卒業

瑞宝双光章

生駒 栄似 (いこま えいじ) 氏

大阪工業大学 短期工科大学部 土木工学科  
1979年卒業

## 2023年10月21日(土) 総会・ホームカミングデー2023



秋晴れの下、大宮キャンパスにて総会・ホームカミングデー2023を開催し、総勢234人が母校に集いました。参加された方には受付で記念品として防災グッズを配付。13時より東中庭特設ステージにて歓迎セレモニーを開催しました。岡山副学長と能勢校友会副会長からの挨拶の後、文化会ウインドアンサンブルの学生たちによる演奏があり、アンコールも行われるなど大変盛り上がりました。その

後、会場を教室に移して総会を実施し、次第に基づいて各種会務報告が行われました。引き続き課外活動奨励賞の授与式が行われ、池田会長より鳥人間コンテスト2023で活躍した工大人力飛行機プロジェクトへ目録が手渡され、次回大会でのさらなる活躍を祈念しました。終了後、同会場にて上方講談「赤穂義士伝より～天野屋利兵衛～」を上演。今回出演いただいた旭堂南左衛門氏の語りに聞き入り、お話の世界に引き込まれた1時間となりました。当日は城北祭も開催されており、模擬店を回ったり研究発表を聞いたりと思い思いに過ごしました。全体交流会(懇親会)は4年ぶりの実施となり規模の面から初めて外部会場にて開催しました。会場のホテルアゴラ大阪守口には、約200人が参加。恒例となったグリークラブOBによる大学歌の合唱にて開会した後、主催者を代表して井上工科大学長による挨拶、また来賓を代表して西村理事長よりご祝辞をいただきました。溝口学園校友会会長による乾杯の発声で開宴。各テーブルでは学生時代の話や近況報告などで大いに盛り上がり、学科や卒業年を超えて交流を深めることができました。アトラクションのお楽しみ抽選会では多くの方に家電製品などの豪華賞品が当たったほか、メインゲストスピーチでは環境工学科を卒業された若いお二人からスピーチをいただきました。瞬間に時が過ぎ、池田会長より中締め挨拶があり、来年のホームカミングデーでの再会を誓って散会となりました。

大阪工業大学校友会

## 活動now

### 大阪工業大学校友会とは

大阪工大卒業生を中心に関係する校友を束ねて、母校の発展に貢献する組織です。様々なカタチで交流の場を設け、たくさんの方に参加いただいています。更なる組織拡大に向け、校友のパワーを結集して母校の発展に大きく貢献していくため活動しています。年に一度、大学との共催でホームカミングデーを開催しています。大宮・枚方両キャンパスとも大学の学園祭の日程に合わせ、賑やかな雰囲気の中懐かしい母校を見学できるとともに、学生とのふれあいの場を提供しています。



## 2023年11月3日(金・祝) 枚方キャンパスホームカミングデー

天候にも恵まれ暖かな日差しの中、枚方キャンパスに36人の校友が集いました。今年も恩師の先生方にたくさんお越しいただくことができ、明るい笑顔が会場に溢れました。交流スペースとして「ポエム北山」を開放し、参加者をおもてなしたほか、イベントとして抽選会も実施し大変盛り上がりしました。当日は北山祭も開催されており、学生が日頃の研究成果を発表する“OH! ITカーニバル”を見学するなど、母校での楽しいひと時を過ごしました。

たくさんの卒業生が参加しました!  
ぜひ次回は皆さんもお越しください!!



## 2023年11月25日(土) 学生とのランチミーティング

学園・大宮西校地の研修棟にて学生とのランチミーティングを開催。文化会本部と体育会本部、城北祭・北山祭・茶屋町祭の各実行委員会、応援團より20人の学生が参加しました。これまで夕刻に行っていたものを日中の参加しやすい時間帯に変更し、当日は



校友会の取り組みについて紹介したほか、5つのグループに分かれて役員と学生とで忌憚のない意見交換を行いました。

## 2023年12月9日(土) 第2回 幹事会・幹事研修会

大阪府羽曳野市にある河内ワインにて第2回幹事会・幹事研修会を開催し、24人が参加しました。到着後、まずはワイナリーの見学をさせていただき、オーナー直々にワインが出来上がるまでの工程や裏話などについて説明を受け、大変知見を広めることができました。会場を移して幹事会を滞りなく終えた後、待ちに待ったワインの試飲タイム。ソムリエの方より各商品の特長などを伺いながら、ワインやリキュールのテイastingを行いました。昼食時には趣向を凝らした賞品を用意したビンゴ大会を行うなど、幹事の絆を深める大変有意義な機会となりました。

奥深いワインの話に一同聞き入りました。



2023年8月26日(土)

## 第11回 合同クラス同窓会

常翔学園中学校・高等学校卒業後5年目と10年目の校友49人と在学当時に担任だった先生15人が参加し、思い出に浸りながら、懐かしい友人や先生との再会、新たな友人との出会いを楽しみました。卒業10年目の方々は、当時担任だった田代先生が校長に就任されていることを知り驚き、卒業5年目の方々は、社会人1年目ということもあり、社会での楽しさや厳しさを共有していました。

合同クラス同窓会は、学び舎を共にした友と再会し、絆を深め、新たな交流を育む素晴らしい機会となります。来年以降も、この行事が続き、ますます多くの校友が集い、思い出を共有できることを願っています。



常翔学園中学校・高等学校校友会

# 活動now

## 常翔学園中学校・高等学校校友会とは

旧大阪工業大学高等学校ならびに常翔学園中学校・高等学校の卒業生を中心に、一丸となって母校と連携しながら輪を広げていくための活動を行っています。総会や文化祭への出店などのほか、常翔好友クラブ(40歳未満の方が対象)と常翔シニアクラブ(60歳以上の方が対象)主催によるイベントも開催。卒業しても交流の場を提供できるように取り組んでいます。



2023年9月16日(土)

## 常翔学園中学校・高等学校 文化祭



さて、卒業時のアルバムはあるかな?



母校の文化祭開催にあわせて、久々に校友会も出店。新型コロナウイルスの影響で実に4年ぶりとなります。今年は在校生に校友会の存在を知ってもらうことを目標として、恒例である歴代の卒業アルバム展示に加え、青年部(常翔好友クラブ)主体でゲーム大会を開催。けん玉とルービックキューブのタイムアタックや青年部員とのテレビゲーム対戦で大いに盛り上がりました。また、中高校友会クイズラリーも実施。校友会活動や母校に関するクイズを出題し、見事正解された方には記念品をプレゼント。多くの現役生徒が会場に足を運んでくれ、校友会のことを知っていただく機会を作ることができました。文化祭は卒業生であれば入場できます。ぜひ母校の今を知ってみませんか。

2023年12月2日(土)

## 卒業生交流パーティー

青年部主催による「卒業生交流パーティー2023」を4年ぶりに、大阪梅田貸切ダイニングバー&カフェ「カフェヌ」にて開催しました。今回は20~33歳の常翔学園高校(大阪工業大学高校)の卒業生32人と母校から勝浦先生もご参加。同じ学校で過ごした思い出を懐かしみながら、世代を超えた交流ができました。各テーブルで久しく会った同級生や先輩、後輩、先生などが揃って、美味しいご飯を楽しみながら、多くの卓で会話が花が咲いていました。アトラクションとしてビンゴ大会を開催。Bluetoothスピーカーなど豪華賞品を用意したこともあって、皆さん番号の発表に一喜一憂しながら、大いに盛り上がりました。来年度以降もこの交流パーティーを企画した際には、今回来ていただいた方はもちろんのこと、ご都合が悪く参加できなかった方など、より多くの卒業生の参加をお待ちしています。

ビンゴの商品にまさかの「金塊」登場?

勝浦先生に乾杯の発声をお願い。アンティーク調の店内は、お洒落な空間でした。





はたちの集い2024を常翔学園中学校・高等学校の北館で開催。母校と校友会の共催事業として初開催した2019年以来5回目となる今回は、対象者118人が参加しました。式典では、高野会長から「自覚と責任を持ちながら失敗を恐れず、いろいろなことにチャレンジしてほしい」、田代校長からは今回の参加者が生まれた2004年の出来事の紹介とともに「生きがいは、人と人の繋がりで見つかることが多い。そこから共に何かを作り上げていってほしい」とエールを送られました。はたちの代表として成田夕輝さんが「高校生時代は、修学旅行など楽しく懐かしい思い出が一杯。いろいろな経験と助けがあったからこそ今の自分がある。今まで支えていただいた全ての方に感謝してこれから歩んでいきたい」と宣誓されました。1階で参加者全員の集合写真を撮影後、2階のレストラン「エスペランサ」に移動して祝宴を開催。卒業以来の再会となる友人や当時お世話になった先生方と楽しく歓談する時間を大いに満喫していました。恒例・好評のサービスとして実施しているプロカメラマンによるポートレート撮影には、記念に残る1枚を求めて個人や友達同士など多数の申し込みがありました。その他、全員の集合写真やスナップ写真も来場された方のみ閲覧できるようにしています。人生節目の年を迎え、それぞれ次のステップへと進んでいくことでしょう。輝かしい未来に向かって飛躍してください。皆さん、本当におめでとうございます。



私たちが  
スイーツが似合う  
歳になりました！



今までお世話になった全ての方に感謝します。

プリンやケーキなど、おいしいスイーツもご用意



良い機会を作ってください、ありがとうございます。



## 学院クラブ

2023年7月15日(土)  
総会・懇親会



1923(大正12)年に関西工学専修学校初の卒業生が出てから100年を迎えました。学院クラブはその卒業生も含め、摂南工科専門学院や大阪工業大学専門学院等の卒業生により構成されています。会員の高齢化が進み、近年における行事の出席者数減少と役員不足という状況が顕著になってきたことで、単独の学校別校友会として活動を継続することが困難な状況となっていました。今回の総会では、生存者で住所が判明している全国の学院クラブ会員約1,700人全員に案内を送付しました。160人程度の物故情報がご家族から寄せられたほか、ご本人からも「入退院を繰り返している」「歩行困難」「介護施設に入居中」などのメッセージが寄せられました。役員会での協議を経て今回総会を開催し、2023年度をもって学院クラブを発展的解消とすること、2024年度からは「大阪工業大学校友会」に合流し、活動を共にすることが承認されました。当日参加された8人の会員は懇親会で親しく歓談。最後に渡辺監査から「学院クラブは本日、一つの節目を迎えた。私もこの会で、いろいろな楽しい思い出がある。それは消えることはない。歳をとっていくことは止められないが、これからも皆が健康で元気に過ごしていくことが一番大事なことです。またどこかでお会いしましょう。学院クラブ万歳!」と締め括られました。



学院クラブ  
短大大宮会  
高専会

## 活動now

### 学園の旧設置校(前身校)校友会もますます元気!

毎年、総会のほかにも研修会や見学会、懇親会などを企画し、活発に活動しています。あなたの卒業した学校にも必ず学校別の校友会が存在します。本当に懐かしい友との再会を楽しみに、ぜひ参加してみてください。

## 短大大宮会

2023年9月2日(土)  
総会・懇親会



天満橋の大阪キャッスルホテルにて、総会・懇親会を開催しました。会員とご家族29人のほか、来賓として学園ならびに他校校友会から9人の参加があり、総勢38人が会しました。総会では廣嶋会長の挨拶に続き、2022年度の事業報告ならびに決算・監査報告、2023年度の運営方針ならびに予算について報告が行われ、滞りなく終わることができました。懇親会では来賓を代表して前田理事長代理と溝口学園校友会会長よりご祝辞をいただいた後に開宴。歓談の終盤には恒例のお楽しみ抽選会が行われ、来賓の方も一緒になって一喜一憂しながら大変盛り上がることができました。



## 高専会

2023年10月28日(土)  
秋季研修会



秋晴れの下、4年ぶりとなる秋季研修会を開催し、総勢24人で淡路島を訪ねました。梅田に集合して大型バスに乗り、最初に「国生み神話」でも有名な伊弉諾神宮を参拝。樹齢900年の非常に立派な楠に一同見惚れました。続いて野島断層保存館を訪ね、実際の活断層や展示を見学。防災に対する意識を改めて高めることができました。昼食は播磨灘を望む絶景の場所に建つオーシャンテラスにて、淡路牛のランチを美味しくいただきました。お腹を満たした後は、島の東側にあるアクアイグニス淡路島へ。水着に着替えてビーチサイドの伊弉諾の湯に入り、至福の時を過ごすことができました。

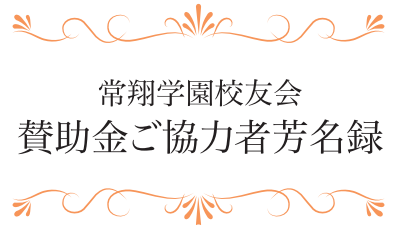




## ご協力に感謝申し上げます

2002年秋から開始した学園校友会の賛助金制度は、これまでに全国から5,000人を超える校友の皆様にご協力をいただいております。賛助金は、支部活動の活性化をはじめとする校友会の更なる発展のために必要な事業などへ充当させていただきますので、引き続きご協力をお願いいたします。なお、本頁には2023年1月1日～同年12月31日までの期間にご協力いただいた方を対象に掲載しております。

<ご芳名は敬称略とし、金額区分ごとに氏名50音順で掲載>



# 常翔学園校友会 賛助金ご協力者芳名録

							ご協力者芳名
畠中 繁	緒方 正美	村田 訓宏	道家 和徳	奥野 竜久	中間 紀年	中原 邦彦	<b>5万円</b>
濱田 壮太	岡野 光成	八代 紘一郎	戸川 安廣	恩田 恵	西林 和文	中本 忠恵	入江 幹和
林 紀秀	岡本 勇三	矢立 僑	鳥取 申長	海士 将之	野田 勉	新名 和也	黒田 勇治
原 啓一	加島 哲也	柳澤 徳仁	友本 靖典	香川 尚	福本 惺明	西村 勝	黒田 勇治
原田 義輝	加藤 勝己	柳本 凶南雄	中島 工	鎌倉 吉郎	前田 浩一	二谷 伸哉	森 多賀喜
一ツ矢 和範	加藤 秀治	柳瀬 昭彦	中瀬 博夫	川上 秀吉	牧野 安男	早川 清	<b>2万円</b>
福井 啓昭	門永 鉄雄	矢野 雄史	中野 大輔	川岸 利章	三上 恭	深江 茂久	内田 健一
福田 晴行	金子 幸生	山下 捷雙	中前 匡勝	川崎 弘	吉田 実	堀 陽浩	岡本 敏夫
福岡 博彦	神内 重明	山田 忠治	中村 廣助	上林 彰夫	<b>3000円</b>	松尾 正洋	木下 典子
藤田 祐司	川岸 馨	山本 富造	中村 智行	北尾 義郎	江見 頼孝	松岡 勝己	溝口 浩
藤吉 俊太郎	川島 敏彦	山本 良和	名手 聡	北岸 公男	大門 正博	眞野 康彦	森川 武昭
藤原 敏晃	岸人 稔	養学 邦雄	西崎 矩生	北口 晴揮	越智 幸次	水岡 慶貴	<b>1万円</b>
星合 祐希	北野 孝之	吉川 元佑	西田 健	北村 武彦	<b>2000円</b>	宮田 勝康	秋友 寛治
細谷 克也	清岡 臣夫	吉永 韃實	波多野 清史	木村 好彦	青木 海	安田 健	石垣 英明
松田 忠	小谷 博	吉野 勝久	早川 陽三	久保 幸男	青木 健一	山口 正信	石地 収
松永 昇次	後藤 栄一	米岡 志朗	原田 石生	久保田 弘	赤井 佑爾	山本 昇	井上 貞一
松本 二郎	小林 義和	若松 利隆	原田 英俊	黒木 勝男	赤阪 光祥	横手 晋一郎	岩佐 恭知
南 敬一	財満 大輔	渡邊 尚二	疋田 喜智男	小泉 純一	明 孝行	<b>6000円</b>	内海 閑一郎
宮崎 晃	嶋岡 壯吉	渡辺 均	日并 秀行	古賀 洋俊	有馬 安治	朝倉 公景	内山 喬之
目片 淳治	清水 良和		平岡 輝彦	小西 敏之	安藤 幸夫	笠原 光雄	浦中 拓治
森 一人	須田 康熙	<b>ご芳名のみ</b>	廣瀬 満雄	小林 勉	飯島 明	地道 裕彦	越前屋 棟
森 謙孜	高山 進三郎	朝比奈 博則	藤 憲二	佐浦 正幸	池田 親治	富田 武	大仲 由之
森 保	田中 寿弥	足立 博成	藤井 修二	坂口 美悠	池田 忠史	古野 有宏	岡野 則夫
森田 勝	田中 秀和	厚地 俊男	藤井 俊彦	坂本 雅俊	石倉 博	矢山 一幸	奥田 政雄
八木 讓	田淵 喜之	石田 健二	藤田 志成	櫻井 敬三	伊藤 勇	<b>5000円</b>	小田 健治
安光 央	田里 正治	石田 幸治郎	藤原 和俊	笹生 正則	井上 敦史	岡田 龍二	金森 大蔵
山川 政次郎	丹波 秀廣	石田 雅信	堀井 良一	信夫 康秀	井上 和則	<b>4000円</b>	菅 哲敬
横手 純男	角山 勇夫	石田 行雄	堀切 勝美	嶋田 成宏	今城 宣裕	井戸 隆博	木下 武三
渡辺 武	寺尾 忠勝	泉野 進	前田 寿彦	清水 裕	岩本 幸治	今村 博	倉坪 茂登雄
	寺方 泰夫	一本杉 仁志	松井 修治	下辻 隆	上田 康伸	植田 利尚	桑名 登
<b>匿名 67件</b>	土井 延	井手 一成	松浦 重剛	杉田 吉紀	上田 良和	大越 歩	河野 隆章
27万4000円	仲 猛	稲垣 武哉	松本 憲一	関口 謙治	植原 宏	大谷 友司	小林 和雄
	中内 康男	今里 清幸	真鍋 浩幸	瀬口 幸二	梅津 国雄	小川 哲生	小林 弘道
<b>支部・団体</b>	中川 隆太郎	井本 博史	三浦 暁	田井 芳洋	榎本 殖次	奥野 喜與久	才田 敏和
東大阪支部	中園 大三郎	岩田 成人	水谷 光	高崎 昭典	遠藤 幸治	葛谷 一二	酒井 博
1万7000円	中野 均	岩田 博	水谷 貴一	高橋 俊二	大川 肇	川上 真祐	里村 憲一郎
島根県支部	中村 邦夫	植松 治	溝口 正義	高橋 恒晴	大久保 幸彦	北村 浩一	新谷 博之
1万円	中村 信之	宇野 勝	南 廣明	武田 幸二	太田 敏彦	小高 昌彰	住吉 橋広
	中本 慎一	梅田 徳次	宮崎 隆之	多田 一雄	大津 博樹	佐野 武男	高原 明
	西井 浩三	遠藤 建明	三好 恵三	玉田 成男	大槻 正信	白樫 覚	田中 敏夫
	西村 昭	大井 信寛	三好 弘通	坪井 伸汎	大橋 一郎	高橋 一成	田中 英男
	西邑 清隆	大西 達之	村上 俊文	寺崎 英樹	岡本 満也	竹内 徹	辻本 英一
	橋本 哲次	岡 信年	村上 信仁	寺田 正一	奥田 幸男	田中 雅之	中澤 健次

# 夫のサポートと娘の笑顔に支えられ 目指すは全農業機械の自動操舵化!

現在の仕事について  
教えてください。

農業関連機械の開発や製造、販売等を行うヤンマーアグリ株式会社中央研究所で、野菜移植機や収穫機関連の電装設計を担当しています。入社後3ヶ月の研修期間を経て最初に配属されたのが滋賀県にある中央研究所で、1年間はトラクターなどの性能試験に携わりました。その後、岡山県にあるヤンマーアグリ本社へ転勤となり、大型トラクターやロボットトラクターと呼ばれる自動運転農機 O E M トラクターの設計を行っていました。トラクターの設計は社内の花形部門。夢だった業務に就けて嬉しかったのですが、トラクターはすでに完成された農業機械で田植機やコンバインもほぼ全自動化され、今以上の進化が難しいことを知りました。一方、野菜の苗植えや収穫に使う農業機械はまだ発展



途上にあり、自動化もこれから。その発展に貢献したいと思うようになり、社内結婚した夫の転勤について行く形で自身も中央研究所へ戻ったことを機に「野菜づくり関連機械の電装設計にチャレンジしたい」と上司に志願しました。電装設計を担当する女性社員は今のところ私1人。挑戦心や自由を重んじる社風に支えられ、やりがいを感じながら働いています。図面を描いていると集中しすぎること多く、気づいたら勤務時間中に一度もトイレに行っていないなんて日も(笑)。自分が設計した農業機械の試作が出来上がった時の喜びは大きく、仕事への原動力になっています。

今の会社に就職したきっかけは  
何ですか。

幼いころに母がいろいろな体験イベントに連れて行ってくれました。その中で、ロボットづくりや田植えなどを経験し、ものづくりを好きになったことが今につながる原点です。中学の進路選択時には農業高校と工業高校のどちらに進むべきか迷ったのですが、当時は航空整備士に憧れていたこともあり、夢への足がかりになればと大阪府立都島工業高等学校の電気機械科に進学しました。大阪工業大学工学部ロボット工学科を選んだのは、高校での学びをさらに深めたいという気持ちが強かったからです。機械工学や電

気電子工学といった学問は女性が少ないかを選びにくい分野なのかもしれないが、私はおもしろさを見出すことができ、高校、大学で築いてきた専門キャリアを社会人になっても積み上げていきたいという意欲が芽生ええました。自分の将来像を具体的に描いていく過程で航空整備士への憧れは薄れ、就活中にヤンマーホールディングスの求人情報を見つけ、興味のあった農業と機械開発の両方に携われると思いつく就職を決めました。

どのような大学時代を  
過ごしましたか。

正直なところ、学業には熱心な方ではありませんでした。機械工学はまじめに取り組んでいましたが電気電子工学はあまり…。でも電気系の実習は楽しくて、大学時代に得た知識が電装設計の仕事にも生かされています。教科書は今でも大事に持っているのですが、引っぱり出して読み直すこともよくあります。特に信頼性工学は工場で部品を製造する際の廃棄率を算出する時に必要な知識なので、教科書を頼りに当時学んだことを振り返っています。電気電子工学については社会人になつてからその重要性を痛感し、もっと真剣に勉強しておけばよかったと後悔しました。大学時代の思い出で一番に残っているのは部活動です。軽音楽部に入部し、エレキベースを担

大阪工業大学 工学部 ロボット工学科 2016年3月卒業

中村 倫子さん(なかむら みちこ)



大阪工業大学工学部ロボット工学科を卒業後、2016年にヤンマーホールディングス株式会社へ入社し、同グループのヤンマーアグリ株式会社に配属となる。2019年8月より中央研究所 開発統括部電装制御開発部電装技術グループに所属。現在は第二子出産のため産休中。

# HATSURATSU 校友ハツラツさん

キラキラ輝く校友にインタビュー!!

今回は大阪工業大学工学部ロボット工学科を卒業後、ヤンマーアグリ株式会社  
に勤務する中村倫子さんにご登場いただきます。滋賀県にある職場を訪ね、現  
在の仕事や学生時代の思い出、今後の夢などについて伺いました。

当っていました。楽器は未経験だったので、みんなに追いつこうと一生懸命練習に励み、ライブでステージに立つことが楽しみでした。2年生になると就職に就き、学園祭などに先輩と部長から寄せられる意見を聞いて、さまざまな事項を調整するという難しい役を任せられました。結構苦労したのですが、この時に培ったコミュニケーション力が仕事で役立つ場面も多く、頑張った甲斐があったと感じています。

**ご主人は同期だとか。仕事と家庭の両立はどうしていますか。**

同期入社の方は機械設計を担当していて、家でも仕事の話は結構しており、

仕事が行き詰まった時には、困っている内容を相談し合っています。お互いに良いアドバイスができない時もありますが、私と夫は違う機械を担当しているのでも、全く内容を知らない人に説明することで、頭のなかで課題と目的を改めて明確化でき、打開策が出せたりします。夫は大学時代、農学部だったので、農業についてあまり知識のない私に農業体系や、実際に農家の方が多く使用されている作業機について教えてくれます。野菜の栽培方法は地域によって結構異なるので、試験でお邪魔した農家の方の意見が全国共通かと思えば、違うこともありえます。夫に聞いて教えてもらって、地域で分けて考えることができています。でも、育児や家事に関しては、頼りっぱなし。3歳になる娘の幼稚園のお迎えはもちろん、洗濯や食事の準備なども率先してやってくれます。職場の環境や私の立場、仕事の状況をよく理解した上で協力してくれているのだと思います。出張や繁忙期も乗り越えられるのは夫の助けがあつてこそ。本当に頭が上がりません。ママとしての私は完全に娘に主導権を握られ、振り回されてばかりです。私が母にしてもらったように、最近は娘と連れ立ってイベントに参加することも。体験から感性を広げ、伸びやかに成長してほしいというのが夫婦そろっての願いです。

**今後の夢や目標は何ですか。**

仕事を任せてもらえるようになったので、今後もヤンマーアグリで電装設計を続けていきたいと思っています。日本の就農者数は年々減少傾向にあり、作業の省力化や効率化へのニーズが高まっています。それにはAIやICTサービスなどを活用した農業への移行が急務であり、開発も進んできました。広く普及するには解決すべき課題がまだ残されていますが、将来的にはすべての機械を自動操舵化し、農業を女性1人でもできる仕事にすることが当社の目指すところであり、私の夢でもあります。重労働という従来のイメージを払拭し、スマートでクリエイティブな農業の実現に向け、これからも努力を続けていきます。

当社は社食がとても充実しているんです。契約農家さんから新鮮な野菜や米が届き、いつも栄養バランスの取れたランチが食べられてありがたいなと思っています。当社の試験農場で栽培された野菜を自由に持って帰れる時もあるとあって、この間はニンニクが山盛りになっていました。主婦としては家計が助かり嬉しいですよ(笑)。



## こぼれ話

取材と撮影のために中央研究所を訪問したのは、年の瀬も押し迫った昨年末。加えて産休直前という仕事も忙しい時期にもかかわらず、中村さんは終始笑顔で丁寧に対応してくださいました。撮影中に「お腹の子は、また女の子みたいなんですよ」と話し、柔らかな笑みを浮かべた中村さん。健やかな赤ちゃんの誕生と成長を祈っています。

校友スポットライトでは、最前線で活躍する校友を紹介。お仕事のことはじめ、私生活や学生時代のエピソードなどをお聞きます。

いすゞ自動車株式会社  
xEVシステム開発第二部・xEV電子制御開発第一グループ

うえの とおる  
**上野 徹** さん [大阪工業大学 工学部 機械工学科 2014年卒  
大阪工業大学大学院 工学研究科 機械工学専攻(修士) 2016年修了]



♪い〜つ〜ま〜でも〜、いつ〜ま〜でも〜、走〜れ、走れ!いすゞのトラック〜♪でお馴染みのいすゞ自動車。最先端のEV技術を取り入れた新しい時代の自動車を作るためには、車体の技術革新だけでなく、さまざまなハイテク機器を搭載し、機能性と安全性を追求していく必要があります。『働く車』のシステム設計を担う、上野さんにお話を伺いました。

『音』の正体は？  
どんな仕組みなのか？  
そこに興味があった

学生時代はバンドをやったりバイクに乗ったり...そこで発生する『音』に興味があったという上野さん。大阪工業大学の機械工学科を選んだのも、『音』の研究をされている吉田準史先生が教鞭をとられていると知ったから。金属を削る『音』に直接関わると、入学早々に学生フォーミュラプロジェクトに参加。バイクのエンジンを使ったレーシングカーを学生の手で1年かけてゼロから造り上げる学生フォーミュラは、企画・設計・開発・製造だけでなく、スポンサー探いやさまざまな部品の調達、協力製作してくれる工場探など、モノづくりを取り巻く環境にも携わっていく。1年ご



とに新しい『動くもの』が出来上がっていく面白さにふれたことが、車を製造する業界への就活をするきっかけになった。また、学生フォーミュラでは、これまでの伝統や技術を先輩から後輩へ脈々と受け継いでいく。この引き継ぎの能力を自然と

身につけられたことも、今の自分を作っていると上野さんは話す。

学生時代の知識と経験が『今』を導いてくれた

上野さんが大学院に進むタイミングと合わせるかのように、ドイツから吉田先生が帰国され、念願の研究室に入ることができたそう。研究室ではハイブリッドカーの音の実験や研究に関わった。国によって音の感じ方がどう異なるのかという『音』のデータを集めるため、3ヶ月ほどドイツにも留学。さらにアメリカで開催された国際学会での発表を経験した。そんな恵まれた経験をもとに、いすゞ自動車に入社し、エンジン実験部騒音対策部署に配属。エンジン実験部ではいすゞの伝統をしっかりと学び、エンジンをバラバラに分解するなど、系統化されたカリキュラムが確立されていて、『働く車』を造り出していきいすゞ自動車の役割や構造をしっかりと学んだ。学生フォーミュラに明け暮れながら、音の知識・実験経験など大学院で学んだ



いすゞが手がける『働く車』の役割や車づくりが学べる「いすゞプラザ」

ことが直接生かせる職場での6年間の経験が大きな糧となった、と振り返る。

エコな『働く車』の未来を切り開いていく

一般乗用車のみならず、いすゞの扱う『働く車』もEVへの移行が急務とされている。乗る人の安全に加えて、積載する荷物の重さや負荷のかけり方、また消耗するサイクルなどを含めた実験を繰り返し、安全に働き続けられる車の性能を追求した最新の制御コンピュータの搭載も不可欠となる。昨年、このEV技術を研究開発する部署に興味を持ち、自ら手を上げて異動した上野さんは当初、『まるで転職したくらい』の環境変化に戸惑ったそう。それでもEVだけでなく燃料電池車など、エコを視野に入れたさまざまな車両開発のために日夜、実験と解析、システムの設計と開発に取り組んでいる。「数年後には街を走るEVバスなど、自分が関わったエコな『働く車』が、自分の住む街を走る姿を見ることが普通になる。そんな未来を思い描きながら頑張っています」と熱く語ってくれた。



発行所 常翔学園校友会  
発行人 会長 溝口 浩  
事務局 〒535-0003  
大阪市旭区中宮5-16-29 学園・大宮西校地 本部棟2階  
Tel. 06-6955-6662 Fax. 06-6955-1412  
E-mail office@oitaa.com  
URL https://www.oitaa.com

制作・印刷 株式会社ディーズクリエーション

大阪工業大学 証明書オンライン申込みサービスのご紹介

大阪工業大学の各種証明書は、大学窓口や郵送での申し込みのほか、オンラインでの申し込みが可能です。また、成績証明書や卒業証明書など一部については、全国のコンビニエンスストア(セブンイレブン、ファミリーマート、ローソン)で発行することもできます。

■詳細については、以下の大阪工業大学公式ホームページをご覧ください。  
<https://www.oit.ac.jp/japanese/alumni/certificate.html>